

奨学金情報

団体名・奨学金名	公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
応募資格	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> バングラデシュ・ブータン・ブルネイ・カンボジア・インド・インドネシア・ラオス・マレーシア・モルディブ・ミャンマー・ネパール・パキスタン・フィリピン・シンガポール・スリランカ・タイ・東ティモール・ベトナムの国籍を有する私費留学生（研究生等の非正規生除く）<input type="checkbox"/> 学部学生：2年生以上の者又は編入が決定している者 大学院生：在籍中の者又は入学が決定している者<input type="checkbox"/> 応募時に日本に居住していること<input type="checkbox"/> 他の奨学金又はこれに類する金品を受給していないこと（TA/RAの報酬、貸与奨学金の受給は可）<input type="checkbox"/> 学業・人物ともに優秀でかつ健康であり、経済的援助を必要とする者<input type="checkbox"/> 学内の特別プログラム等で用途自由な金銭を受給していないこと（※奨学金受給開始時に受給が終了している場合は応募可）<input type="checkbox"/> 日本で就業している親がいないこと<input type="checkbox"/> 「博士」の学位を取得していないこと<input type="checkbox"/> 奨学金受給開始後の課程修学期間が1年以上であること<input type="checkbox"/> 学業・研究に支障のない日本語能力を有すること<input type="checkbox"/> 異文化交流及び社会貢献に高い関心があること<input type="checkbox"/> 財団が主催する交流会に出席できること（年6回、主に東京で開催）<input type="checkbox"/> 奨学支援期間終了後も財団の卒業生として積極的に交流する意思があること
支給金額	<ul style="list-style-type: none">●学部生：月額 150,000 円●大学院生：月額 180,000 円
支給期間	2年間（又は採用時課程の標準修業年限まで） <ul style="list-style-type: none">●2022年10月期私費留学奨学生：2022年10月～2024年9月●2023年4月期私費留学奨学生：2023年4月～2025年3月
募集人数	全国で約15名
応募方法・応募締切	<ol style="list-style-type: none">① 国際交流チーム(ryugaku@ab.mie-u.ac.jp)へメールで連絡をする メール連絡期限：【在学生】7月14日 【新入生】8月9日 ※なるべく余裕をもって連絡してください。② 指導教員に推薦状作成を依頼する（※国際交流チームから発行する管理番号を教員に伝えてください。）③ 財団ホームページから応募フォームを送信 （https://sisf.or.jp/ja/about_application/） 応募フォーム送信期限：【在学生】7月18日 【新入生】8月15日④ 必要書類を準備しPDF化する⑤ 国際交流チームへ応募書類(PDFファイル)をメールで送る 書類提出期限：【在学生】7月26日 【新入生】9月7日 ※書類不備、期限を過ぎての提出は受け付けません。

<p>問合せ</p>	<p>三重大学国際交流チーム Email : ryugaku@ab.mie-u.ac.jp 電話 : 059-231-9057</p>
<p>選考スケジュール等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一次（書類）選考合格発表：10月20日までに財団ホームページで発表 ●面接選考：10月29日又は30日（場所：東京、使用言語：日本語） ●二次（面接）選考合格発表：11月2日までに財団ホームページで発表 ●認証式：11月13日（日）
<p>併給の可否</p>	<p>不可</p>
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>申請前に必ず募集要項と奨学金申請の注意事項をよく読んでください。</u> ●書類の作成にあたり、募集要項及び申請書に添付されている注意事項や記入例をよく読んでください。 ●募集要項及び申請書類は財団ホームページからダウンロードしてください。 https://sisf.or.jp/ja/about_application/

奨学金申請時の注意事項

1. 申請の前に

- ・必ず募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須。財団により定期的な課題提出などもあります。）
- ・申請に必要な書類がそろっているか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合は、あらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2. 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たな内容で願書を作成してください。
- ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。（消えるペンで書かれた書類は財団に提出できません。）
- ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考する人が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
- ・書き損じた場合は、修正液や修正テープや斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
- ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
- ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
- ・相手方に失礼のないよう、記入欄または指定文字数の7～8割を目安に記入するようにしてください。
- ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認してください。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入してください。
- ・PCで入力する場合、全ての文字が切れずに、枠内に収まっているか確認してください。

3. その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、わからないことがあった場合は国際交流チームに問い合わせてください。個人で財団に直接問い合わせはしないこと。
- ・奨学金応募中、受給決定・内定中、受給中における退学、休学、留学および日本国外への出国の際は、事前に国際交流チームに連絡してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を国際交流チームに連絡してください。

【問い合わせ】

三重大学 国際交流チーム奨学金担当

E-mail: ryugaku@ab.mie-u.ac.jp 電話: 059-231-9057

〒514-8507 津市栗真町屋町 1577

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
私費留学奨学生 募集要項
(秋募集)

2022年10月期 私費留学奨学生

2023年 4月期 私費留学奨学生

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・ 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

- ・ 応募に必要な書類は当財団のホームページからダウンロードできます。
- ・ 新型コロナウイルスの感染状況等により選考方法等が変更になることがあります。その場合は当財団のホームページに掲載しますので、確認してください。

<http://www.sisf.or.jp>

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次の学生を対象に私費留学奨学生の秋募集を行います。

【募集対象】

- ・ 学部学生（日本の大学に在籍し応募時に2年生以上の者及び編入が決定している者）
- ・ 大学院生（日本の大学院に在籍している者及び入学が決定している者）

【応募資格】

以下の条件をすべて満たしていることが必要です。（再応募可）

1. 日本国籍を有していないこと
2. 応募時に日本に居住していること
3. 在留資格「留学：college student」を有する下記対象国国籍の文部科学省所轄大学に在籍する私費留学生（短期大学生及び研究生を除く）
対象国
バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナム
4. 他の奨学金又はこれに類する金品を受給していないこと（TA/RAの報酬及び貸与奨学金の受給は可）※
5. 学内の特別プログラム等で、使途自由な金銭を受給していないこと ※
6. 日本で就業している親がいないこと
7. 「博士」の学位を取得していないこと
8. 奨学金受給開始後の課程修学期間が1年以上であること
9. 学業・研究に支障のない日本語能力を有すること
10. 異文化交流及び社会貢献に高い関心があること
11. 当財団が主催する交流会に出席できること（年6回、主に東京で開催）
12. 奨学支援期間終了後も当財団の卒業生として積極的に交流する意思があること

※ 応募時に奨学金や学内の特別プログラムで金銭等を受給している場合であっても、当財団の奨学金支給開始時に、受給が終了している場合は応募できます。

【奨学金】

1. 支給額

学部学生	月額	15万円
大学院生	月額	18万円
2. 支給期間 2年間
 - ・ 2022年10月期私費留学奨学生：2022年10月から2024年9月まで
 - ・ 2023年4月期私費留学奨学生：2023年4月から2025年3月まで
 - ・ 2年以内に奨学生採用時の課程を修了する場合は課程修了まで支給
 - ・ 卒業までの修学期間が3年未満の学部学生は卒業まで支給
 - ・ 博士後期課程の大学院生は課程修了まで支給（ただし、2年以上の奨学金受給予定大学院生には途中で審査を行い、標準修業年限内に博士号取得が困難と判断された場合は、奨学金の支給を2年で終了することがあります。）
3. 支給方法 2ヶ月に一度、2ヶ月分を本人名義の口座に振込
4. その他の支援制度

授業料補助（審査あり）	学部学生・大学院生
学会出席補助金	大学院生

【募集人数】 約15名

【応募書類】

- ・ 2022年10月に在籍する大学・学年を記入してください。
2023年4月に進学が決定している学生のみ、2023年4月時点の学年を記入してください。
- ・ 提出書類様式1～3は黒のボールペンで自筆（ひらがな可）にてしっかりと記入してください。
- ・ 成績証明書、研究計画書等を含むすべての提出書類の右上に「受付番号」を記入してください。
- ・ 合格者には応募書類原本を提出してもらいます。結果発表まで原本を保管してください。
- ・ 一貫制の博士課程は、最初の2年を修士課程、3年以降を博士課程とみなします。
- ・ 新編入・新入の学生は、合格証明書もしくは合格通知書が添付できない場合、応募できません。
- ・ 当財団奨学生経験者には、エッセイテーマを別に設けています。当財団ホームページ「奨学生のページ」から再応募用の様式をダウンロードしてください。

○：必須

応募書類	用紙	学部	修士	博士	備考
履歴書1	様式1	○	○	○	日本語 自筆
履歴書2	様式2	○	○	○	
エッセイ	様式3	○	○	○	日本語 自筆（所定用紙A4 2枚）
推薦状	様式4	○	○	○	・指導教員による記入 指導教員未定の場合は、その他の教員又は身元保証人等によることも可 ・英文の場合は、日本語訳を添付
評価書	様式5	—	—	○	
学業成績表		○	○	○	資料Ⅰ参照
研究実績	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料Ⅱ参照
研究計画書	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料Ⅱ参照 1枚
在学証明書 (合格証明書)		○	○	○	新入の場合は入学予定大学の「合格証明書」もしくは「合格通知書」（コピー可）

【応募締切】 締切は、下記のAとB二通りありますのでご注意ください。

A：応募時に在籍中の学生 **B**：2022年10月又は2023年4月に入学・編入学の学生

- 1 ホームページ応募受付締切 **A**：2022年7月18日 **B**：2022年8月15日

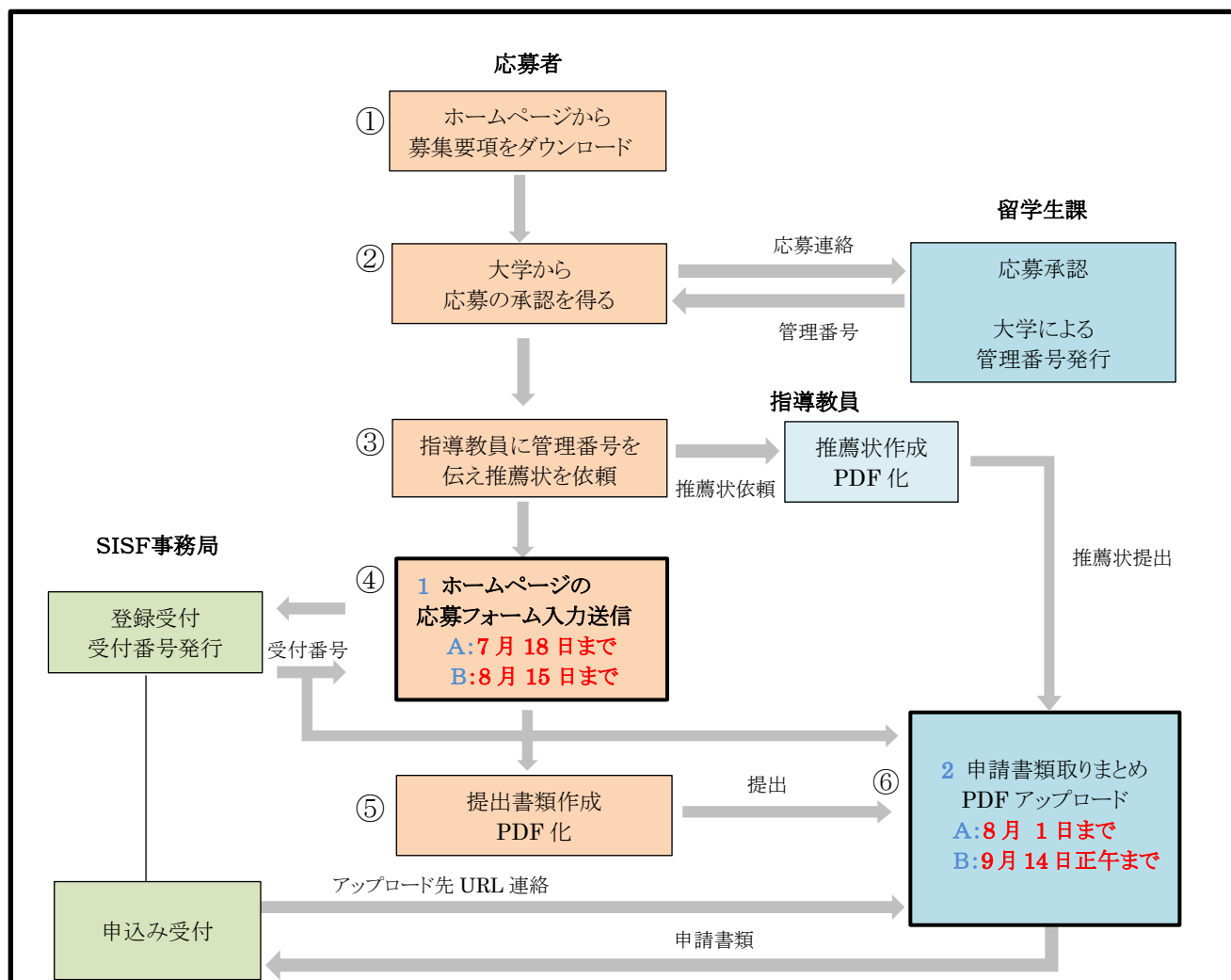
応募者は締切日までに当財団ホームページ応募フォームに必要事項を入力・送信すること。
受付締切後、すみやかにPDF書類の送付先URLを留学生課に通知します。

- 2 書類アップロード締切 **A**：2022年8月1日 **B**：2022年9月14日正午

大学の留学生課は締切日までに提出書類を取りまとめてアップロードください。

【応募方法と応募の流れ】 応募に関するFAQは当財団のホームページに掲載しています。

- ① ホームページから募集要項をダウンロード
- ② 進学先大学の留学生課から応募の承諾を得て管理番号を取得
進学先大学による手続きが不可能な場合は、2022年7月時点の在籍校（日本国内に限る。）を窓口としての応募も可
- ③ 指導教員に管理番号を伝え推薦状を依頼
- ④ ホームページの応募フォームに必要事項を入力し「受付番号」を取得
- ⑤ 提出書類を作成し、以下の設定でスキャンしPDF化
解像度：300dpi 履歴書1はカラー、その他のページは白黒
- ⑥ 留学生課にて提出書類を取りまとめアップロード
PDF化した後、ファイルが明瞭に判読できることを確認の上、送信してください。



【選考及び結果発表】

一次 書面選考

二次 面接選考 2022年10月29日又は10月30日

- ・ 出席必須 東京で開催します。
- ・ 面接は日本語で行います。(面接時に必ず日本にいること)
- ・ 二次選考の要領は二次選考対象者及び申請窓口大学にメールにて連絡します。

合格発表 下記日時に当財団のホームページ(日本語サイト)で合格者の受付番号を発表します。

一次選考： 10月20日までに発表

二次選考： 11月2日までに発表

疫病や自然災害等で面接選考ができない場合は、選考方法の変更や合格発表日を延期することがあります。その場合は、面接選考日の2日前までに大学の留学生課宛に通知するとともにその後の措置を財団ホームページに掲載しますので、応募者は必ず財団ホームページにて最新情報を確認してください。

※合格した学生は、11月の認証式への出席が必須です。(11月13日(日)開催予定)

【留意事項】

- ・ 当財団では、奨学生として守るべき「奨学生規則」を定めています。この規則に違反した場合、奨学金の停止や奨学生資格を失うことがあります。事前にホームページで「奨学生規則」を確認し、よく理解したうえで応募してください。
- ・ 他の奨学金の採用が決定した場合、大学を通じて当財団へすみやかに連絡をお願いします。

【個人情報の保護について】

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い、奨学生選考の目的にのみ使用します。ただし、奨学金受給状況確認のため「合格者一覧」を大学及び他の奨学団体に提供することがあります。

【問い合わせ先】

公益財団法人 佐藤陽国際奨学財団

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1 田町ステーションタワーN

TEL 03-6435-3388

URL <http://www.sisf.or.jp>

E-mail sisf@sato-global.com

学業成績表の提出について

- ・ 下表該当欄の学業成績表を提出してください。
- ・ 日本で発行される学業成績表は原本を提出してください。
- ・ 母国で発行された学業成績表には必ず「和訳」又は「英訳」の成績表を添付してください。
翻訳成績表に証明印(サイン)があれば、母国語の成績表は不要です。
- ・ 指示のない資格証明書や賞状は添付しないでください。

2022 年 10 月 在籍 (進学) 課程 (2023 年 4 月進学及び編入する場合は 2023 年 4 月時の学年として読み替えてください)	下記に該当する 学業成績表を全て提出	説明
学部学生 ※ (応募時に 2 年生以上であること)	学業成績表	高校在籍期間中全ての学業成績表と在籍大学の直近まで全ての学業成績表 日本語学校に通った場合は、その成績表も添付
	日本留学試験に関する証明書(コピー可)	日本留学試験に関する証明書がない場合は、様式 1「提出資料の有無(日本留学試験に関する証明書)」欄の無に○印
大学院生 ※ (修士・博士)	学業成績表	学部1年から直近まで全ての学業成績表

※ 高等専門学校もしくは専門学校からの編入生(編入経験のある大学院生含む)は、応募課程に係わらず高等専門学校もしくは専門学校の学業成績表も提出してください。

【学業成績表への記入項目】 ※用紙の向きにご注意ください。

① 該当期

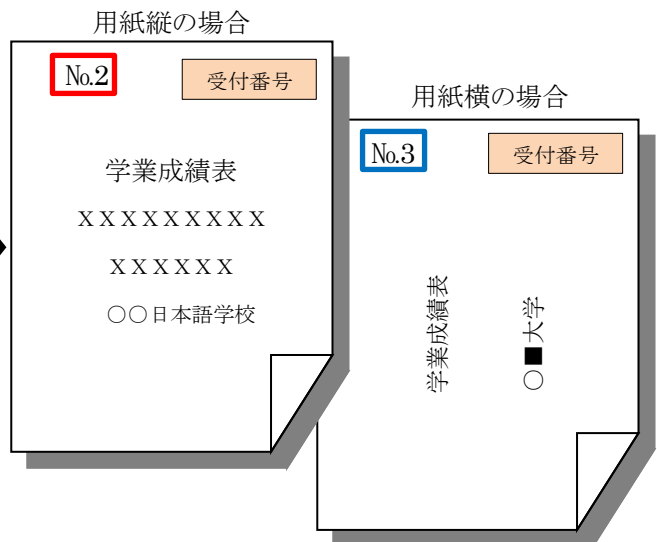
提出する学業成績表が、様式1「学歴」欄に記載されたどの期間に該当するかがわかるように、記入例を参考に学業成績表の左上にNo.を記入し、番号順に提出してください。

② 受付番号

当財団から通知された受付番号を右上に記入してください。

【記入例】

No.	期 間	学校名
1	2012 年 10 月から 2015 年 9 月まで	〇〇高校
2	2015 年 10 月から 2016 年 9 月まで	〇〇日本語学校
3	2016 年 10 月から 2020 年 9 月まで	〇■大学



「研究実績」及び「研究計画書」の書き方について

「研究実績」及び「研究計画書」は、それぞれに「名前」、「受付番号」を右上に記入して提出ください。

■研究実績

- ・ 下記①～⑤に該当するものを書いてください。(何件書いても可)

①公刊論文 (レフリー付・レフリーなし)	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
②学術論文	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
③学術発表(国内)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
④学術発表(海外)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
⑤著書	題名／発表者(全員)／出版元／出版年等

※論文コード(DOI)がある場合は記載ください。

(研究実績を作成するにあたり)

- ・ 日本語、A4 サイズ(ワープロ可)
- ・ 公刊論文、学術論文、学術発表、著書、その他の分類別・年代の新しい順に記入。
- ・ 著者又は発表者が複数の場合は全員の名前を掲載順通りに書き、自分の名前には下線を引いてください。口頭発表は、発表者に*を付記してください(例:*佐藤)
- ・ 公刊論文や学術発表のサマリーは添付不要。
- ・ 博士号の取得の要件に該当する研究実績には「論文題名」の横に「**博士号取得要件**」と明記。
- ・ ①公刊論文(レフリー付)で査読中の場合は、その旨を明記してください。
- ・ 修士に進学する学生で研究実績が無い場合は、学部課程の卒論のサマリー(A4、1枚以内に必ずまとめて下さい)も可とします。それでも実績が無い場合は、履歴書-1(様式 1)の「提出資料の有無」の「研究実績」欄内の無に○をつけてください。
- ・ 「研究実績」の末尾に、卒業論文及び修士論文のテーマを書いてください。実績がない人は、「なし」と記載して下さい(例:修士論文なし)

■研究計画書

- ・ 日本語で、研究要旨を含め **A4 用紙 1 枚**にまとめてください。(ワープロ可、図表使用可)
- ・ 専攻、研究テーマは、専門外の人にも理解できるよう、わかりやすく書いてください。